

SPODフォーラム 2021



New Normalの大学教育を考える

Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education



SPODフォーラムは… 大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD/SDプログラムならびに組織を越えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

日時

2021年 **8/25** (水) ▶ **27** (金) オンライン (Zoom) 開催
※一部除く

主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD) / 高知大学

参加申込

※事前申込制 (先着順)

SPOD加盟校の教職員限定受付 2021年6月25日(金)正午~7月9日(金)正午

一般受付 (SPOD加盟校の方も申込可) 2021年7月14日(水)正午~7月26日(月)正午

申込みはWEBから

<https://www.spod.ehime-u.ac.jp>

※申込開始時には各プログラムのシラバスがご覧になれます。

参加費

SPOD加盟校の教職員

無料

SPOD加盟校以外の教職員

10,000円

特徴

1

多彩な講師陣

先進的な教育改革で知られる大学のトップ、各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員やディベロッパー、職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェッショナルなど、多彩かつ魅力的な講師陣をそろえました。

特徴

2

職場で使える
実践型プログラム

オンラインでのグループワークを含む講義が数多く開催されます。参加者には、意見を出し合い知を共同で作り上げることが求められると同時に、職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。

特徴

3

SDプログラムも
多数開講

SPODでは、FD同様にSDに力を入れており、他では体験できないプログラムを数多く開講しています。教育改善に関心のある多くの教職員の方の参加をお待ちしております。

— オンデマンド・セッション —

例年実施していたポスターセッションに代わり、SPODフォーラム2021では掲示板アプリ「Padlet」を用いてオンデマンド・セッション(プレゼンテーション・動画等を用いたオンライン・セッション)を開催します。

●オンデマンド・セッション参加の流れ

- ①フォーラム参加者へPadletのURLを通知します。
- ②参加者はPadlet上から発表動画を閲覧できます。
- ③参加者は質問や意見があればPadlet上から投稿してください。
- ④発表者ができるだけ質問に回答します。
(質問数によっては全ての回答ができない場合があります)

募集期間 6月7日(月)~7月25日(日)
動画公開期間 8月25日(水)~8月27日(金)
質疑応答(閲覧可能期間) 8月25日(水)~8月31日(火)

公開期間中は自由に動画を閲覧し、意見交換を行うことができます。

※いずれもSPODフォーラムに参加登録している大学等の教職員のみへの限定公開となります。
※動画はオンライン情報交換会「SPOD夜市」のオンライン・セッションブースでも閲覧できます。



— オンライン情報交換会「SPOD夜市」—

オンライン情報交換会「SPOD夜市」を開催します。

オンライン情報交換会「SPOD夜市」とは?

レトロなRPGゲーム風の仮想空間で交流ができる「Gather.Town」を使用したオンライン情報交換会。アバター同士が近づくと、ビデオ通話やチャットが開始されるため、より対面と近い感覚で交流することができます。(Gatherは登録不要で参加可) オンライン講義やリモートワークが増えた今の時代… ZoomやTeamsとはまた一味違う、遊び心のある仮想空間を体験しましょう! 開催校(高知大学)ならではの「ご当地仮想空間」など楽しいイベント満載です。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。



8月26日(木) 18:00~19:30
参加費: 無料 (定員500人)

※SPODフォーラムに参加登録している大学等の教職員のみ参加。
※お手持ちのパソコン(カメラ・マイク搭載必須)でご参加ください。アバターの操作はキーボード上で行います。
※タブレット端末等では操作が制限されるため、正常に作動しない可能性があります。



詳細はこちら



過去の資料等は
こちら

SPODフォーラム2021 プログラム 全体テーマ：「New Normalの大学教育を考える」

| 日時 | | A | B | C | D | |
|-----------------|--------------------|---|--|---|--|-------|
| 1日目 8月25日(水) | 1 9:30 ~ 11:30 | 2501A ループリック評価入門 ～考える、つくる、活用する～ 侯野秀典(高知大学) ワーク 50名 | 2501B テキストマイニング入門 塩川奈々美(徳島大学) ワーク・講義 30名 | 2501C これだけは押さえない 遠隔授業の基礎 藤澤修平(香川大学) 講義 50名 | 2501D 中堅職員のための後輩指導 一理論と実践方法一 竹中喜一(愛媛大学) ワーク・講義 50名 | |
| | 2 12:30 ~ 14:30 | 2502A 大学から地域の元気を 応援する取組 ～地域連携の種まき実践例～ 三戸里美(広島大学) ワーク・講義 30名 | 2502B パフォーマンス評価のための 課題の作り方 飯尾 健(徳島大学) ワーク・講義 50名 | 2502C 教職員のための「事例から 考えるハラスメント」～“ニュー ノーマル”に改めて考える～ 末本美千代(高知大学) 吉田一恵(愛媛大学) ワーク・講義 36名 | 2502D 事例で考える教職課程における 多様な履修相談対応 小野勝士(龍谷大学) 講義 200名 | |
| | 3 15:00 ~ 17:00 | 2503A 学生支援に関わる カウンセリング入門 杉田郁代(高知大学) ワーク・講義 50名 | 2503B 若手職員向け超入門！ 研究者と学術情報流通 井上昌彦(関西学院大学) 講義 50名 | 2503C e-Learningによる 数理・データサイエンス教育 林 敏浩(香川大学) 講義 100名 | 2503D カリキュラムの編成方法 中井俊樹(愛媛大学) ワーク・講義 50名 | |
| 2日目 8月26日(木) | 1 9:30 ~ 11:30 | 2601A 若手職員のための タイムマネジメント入門 井上慎二(高知大学) ワーク・講義 30名 | 2601B 理工系授業における発問を 中心にすえたクラスデザイン 榎原暢久(芝浦工業大学) 吉田 博(徳島大学) ワーク 30名 | 2601C 学生との関係から考える 教職員の倫理 上月翔太(愛媛大学) ワーク・講義 50名 | 2601D 業務の見直しと改善 -ジョブ・クラフティング概念と ECRSを用いて- 村山孝道(京都文教中学高等学校) ワーク・講義 30名 | |
| | 2 12:30 ~ 14:30 | 2602A トップリーダーセミナー 「学位プログラムをいかに マネジメントするか」 山本啓一(北陸大学) ワーク・講義 100名 | 2602B オンライン授業でアクティブ ラーニングに挑戦しよう 金西計英(徳島大学) ワーク・講義 30名 | 2602C オンデマンド研修 PowerQuery for Excel を 用いた効率的なデータ処理 高畑貴志(高知大学) (この時間帯はZoom にて質疑応答可) 講義 50名 | 2602D 教務関連法規の考え方と 根拠の活かし方 宮林常崇(東京都立大学法人) ワーク・講義 50名 | |
| | 3 15:00 ~ 17:00 | シンポジウム 「コロナ後の世界/大学教育はどう変わっていくか？」 講師：大森 昭生(共愛学園前橋国際大学)、喜久里 要(早稲田大学)、佐藤 浩章(大阪大学) 指定討論者：岩崎 貢三(高知大学) 司会進行：塩崎 俊彦(高知大学) | | | | 2603E |
| | 18:00~19:30 | 情報交換会「SPOD夜市」 (Gather.Townを使用したオンライン開催) | | | | |
| 3日目 8月27日(金) | 1 9:30 ~ 11:30 | 2701A 「学生が育つ」ゼミの作りかた 豊田義博(高知大学客員教授) ワーク・講義 200名 | 2701B 地域連携担当者のための 合意形成術講座 前田 真(愛媛大学) ワーク・講義 30名 | 2701C 遠隔授業の強みを最大化する 授業設計とは 仲道雅輝(愛媛大学) ワーク 30名 | 2701D SD担当者研修 -New Normal時代に対応 するために- 吉田一恵(愛媛大学) 葛西崇文(大阪女学 院大学) ワーク・講義 30名 | |
| | 2 12:30 ~ 14:30 | 2702A トップリーダーセミナー 「大学組織を動かす力を 理解する」 中島英博(立命館大学) ワーク・講義 30名 | 2702B 若手職員のための リーダーシップ入門 井村公一(高知工科大学) ワーク・講義 30名 | 2702C Blended Learningで 活用できるグループワークの アイデア 村田晋也(愛媛大学) ワーク・講義 30名 | 2702D 大学設置認可申請入門 長山琢磨(東北学院大学) ワーク・講義 50名 | |
| | 3 15:00 ~ 17:00 | 2703A 学生と職員の協働へ -ピア・サポートの理論と 実践から- 佐々木葉々(広島修道大学) ワーク・講義 50名 | 2703B 面談に役立つアカデミック・ アドバイジングの技法 清水栄子(追手門学院大学) 小林忠資(岡山理科大学) ワーク・講義 50名 | 2703C 大学教職員のための Zoom百物語 石井知彦(香川大学) 講義 200名 | 2703D これからの社会と 大学をつなぐSDGs 塩川雅美(大阪市立大学) ワーク・講義 50名 | |

8月25日(水)～
8月27日(金)

オンデマンド・セッション (掲示板アプリ「Padlet」)

ワーク 主にグループワークや
ペアワーク等を中心と
したプログラムです。

講義 主に講義を中心としたプログラムですが、
グループワークやペアワーク等が含まれ
る場合もございます。

ワーク・講義 グループワークと講義を
併用したプログラムです。

00名 プログラム定員